

第25回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 平成27年6月15日 午前10時00分～12時00分

場 所 神戸市役所 1号館 1121会議室

1. みちづくり計画 5箇年の評価・進行管理について

- ・ 5箇年の評価については、個別施策の評価の積み上げではなく、計画策定の意義や柱を作ったことによる問題点を整理する必要がある。
- ・ 柱の評価については、アウトカム指標を確認することにより見えてくるのではないか。
- ・ 重点施策以外の評価について、定量的に評価できるものもあるのではないか。また、重点施策の評価については、定量的と定性的が混ざった目標値があり、分けた方が良い。
- ・ C評価の理由として課題があげられているが、それを受けて今後どうするかを検討する必要がある。
- ・ 次期計画において、施策の相互関係や全体像をどのように表していくかよく検討すべきである。

2. テーマ別意見交換について

〈自転車利用環境総合計画の取り組みについて〉

- ・ コミュニティサイクルや車道混在型の自転車走行空間の整備については、海外の事例から課題なども参考にして検討するとよい。
- ・ 自転車利用環境総合計画の施策実施の際は、目的を明確にし、メリハリをもって取り組んでいただきたい。
- ・ 都心部では、店舗の出入り等も踏まえて車道・歩道のどこを走行させるか、次期計画にあった方が良い。
- ・ コミュニティサイクルと同様に、電動車いすやベビーカーの貸し出しを行ってはどうか。
- ・ 放置自転車等の問題については、子どもころから授業等で積極的に取り組んでもらいたい。
- ・ 電車へ自転車の持ち込み可能とできないか。
- ・ 淡路では、お店で空気入れの貸し出しを行っている。このように、自転車利用の向上にむけて、市民が自主的に参加する雰囲気づくりを行えないか。